

9月9日（金）2年理数科 『科学的倫理観育成のための講習会』

9月9日(金)に島根大学医学部 浦野 健教授を招いて、「科学的倫理観育成のための講習会」を開催しました。

まず最初に「人はそこにあるものでも自分で見ようとしない限り、感じたり見たりできない。」ということ映像を使って説明していただきました。そして科学者にとって科学的倫理は知らなかったでは済まされない大切なものであるというお話から始まりました。

まず科学者がしてはいけない3つの不正行為について説明していただきました。

- ・捏造 存在しないデータを都合よく作成すること。
- ・改ざん 研究活動によって得られた結果などを真正でないものに加工すること。
- ・盗用 他の研究者のアイディア、データ、研究結果、論文などを本人の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

次に不正行為を行うことは次のような問題を引き起こすことを説明していただきました。

- ・これらの研究不正を行うことは研究者の世界だけの問題ではなく、捏造や改ざんによってつくられた製品を使う一般の人々にも被害をもたらす。
- ・その研究をもとにさらに研究を行う研究者の能力・時間・研究費をむだにしてしまう。
- ・人々の役に立つすばらしい成果が得られたとしても、一般の人に受け入れてもらえない。
- ・優れた若者が研究者になろうと思わなくなり、科学技術の衰退につながる。

「しかしルールを知り、それをきちんと守りさえすれば、科学の研究はそれをおこなう者にとってこれ以上楽しいものはありません。さらにそれが世界の全ての人々のためになり、感謝されることはこの上のないくらいの喜びを感じることができます。皆さんもぜひ研究者の道を志しましょう。」という内容のメッセージをいただきました。

